

杉田氏、過去の言動正当化

動画で「私は差別をしていない」

調した。

自民党の杉田水脈衆院議員は、性的少數者、女性、特定民族への差別だと批判された過去の発言を巡り、「差別がなくなつては困る人たちと戦つてきた。私は差別をしていない」と表明

した。コチラへの投稿動画で語った。自身の言動を正当化したとも受け取れる発言。さらなる差別助長を招く恐れがある。

同時に「マスコミでいろいろと騒がれているが、アイヌや在日（コリアン）の方々に対する差別は、あつてはならないと思う。LGBTや女性に対する差別も当然だ」と指摘。自身への差別批判は「だらないとの見方をにじませた。

動画で杉田氏は「逆差別、えせ、それに伴う利権。差別を利用して日本をおとしめる人たちがいる」と主張した。自身の発言は「日本をおとしめる人たちに向けたものであり、非難される筋合はないとの趣旨とみられる。その上で、差別発言をした事実はないとの認識を強

せ。杉田氏は人権侵犯認定を巡っても、非公開を前提とした法務局の措置を口外したとして申立人に不快感を示し、責任転嫁だと批判された。一連の杉田氏問題は、今月始まった臨時国会でも取り上げられていく。

杉田氏は「チマ・ホヨアリやアイヌの民族衣装のコスプレおばさんまで登場」などと侮辱した投稿を巡り、今月までに札幌と大阪の法務局から人権侵犯だと認定された。このほかにもし

「日本おとしめる人に向けた」